

LICOM SYSTEMS CORP

Alphacam 2012R2 Installation Guide

作成 2012/11/13

お客様の保守有効期限: / / (2012/11/13 現在)

《注意事項》

- 現在, Alphacam 7.5 以前のバージョンをお使いの場合, 本マニュアルの手順にて更新できない可能性があります. その場合, 下記連絡先までお問い合わせください.

ライコムシステムズ株式会社

TEL: (076) 439-0666

FAX: (076)439-0668

E-mail: support@licom.co.jp

目次

必要システム構成	3
概要	4
インストールの流れ	4
STEP1 Alphacamのインストール	5
準備作業	5
Alphacam“キー”	5
インストールの開始	5
自動再生メニュー	5
言語の選択	7
インストールウィザード	7
マイナーバージョンアップ	11
STEP2 スタンドアロンライセンスのインストール	13
Planit CLS ライセンスのインストール	13
Alphacamの起動	17
STEP2 ネットワークライセンスのインストール	18
ライセンスサーバーとライセンスのインストール	18
ライセンスサーバーのセットアップ	18
ライセンスファイルのインストール	19
方法1 – ライセンスマネージャを使う	19
方法2 – WlmAdmin.exe を使う	20
STEP3 クライアント PCのネットワークライセンス環境設定	22
クライアントPCの環境設定	22
重要事項	23
STEP4 Part Modeler のインストール	25



必要システム構成

- **CPU**

1.0GHz, 32 bit Intel Pentium 互換プロセッサ (2.0GHz Intel Pentium 4 以上を推奨)

- **オペレーティングシステム (OS)**

Windows XP SP3(XP Pro 推奨), Windows Vista SP2(Vista Business または Vista Ultimate 推奨), Windows 7(Home, Professional, または Ultimate 推奨)

Alphacam は上記のオペレーティングシステムの 'Home' エディション(Windows XP Home Edition, Vista Home Basic と Vista Home Premium を含む)にインストールし動作させることは可能です。しかし、これを推奨することはできず、この操作環境で発生した Alphacam のいかなる問題に関しましては、サポート対象外となります。

Alphacam は Windows 7 Starter Edition に対応していません。

**Windows は、米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標です。*

- **メモリー**

1GB RAM (32 ビット OS には 2GB 以上を推奨, 64 ビット OS には 4GB 以上を推奨)

- **ビデオカード**

OpenGL® 互換 64MB オンボードメモリ (256MB 以上を推奨)

- **ディスプレイ**

解像度 1024x768 (1280x1024 以上を推奨)

- **ハードディスク容量**

1GB 以上のハードディスク空き容量(最小)

- **ディスクドライブ**

DVD ドライブ (ソフトウェアインストール用)

- **ポインティングデバイス(マウス)**

2 ボタン, 3 ボタン, ホイール付 2 ボタン(推奨) Windows 互換マウス

- **入出力ポート**

USB 1.1 又は 2.0 ポート(シングルユーザセキュリティキーサポート用)

- **ネットワーク**

TCP/IP ネットワーク(ネットワークセキュリティキー用)



概要

この文章には段階的な使用説明書と、Alphacam ソフトウェアと CLS ソフトウェアのライセンスのインストール方法に関する情報が記載されています。

インストールの流れ

STEP 1

ソフトウェアのインストール

AlphaCAM 2012 をコンピュータにインストールします。



STEP 2

ライセンスのインストール

ご契約頂いたライセンスタイプ(スタンドアロン又はネットワーク)によってライセンスのインストール方法が異なります。

ライセンスタイプをご確認の上、インストールを実行してください。

- スタンドアロンライセンスにてご契約の場合 → P13～ を参照
- ネットワークライセンスにてご契約の場合 → P18～ を参照



STEP 3

クライアント PC のネットワークライセンス環境設定

ネットワークライセンスを使用する場合のみ、クライアント PC の環境設定が必要です。
スタンドアロンライセンスを使用する場合、この操作は不要です。



STEP 4

Part Modeler のインストール

Part Modeler を購入された場合は、インストールをします。



STEP1 Alphacam のインストール

準備作業

Alphacam ソフト導入前に、この手順書を一読してください。

インストール前に、使用中のアプリケーションを全て終了してください。

新しいプログラムをインストールする前に、動作中のアプリケーションを停止しないと、他アプリケーションと混合する場合があります。

Alphacam “キー”



旧スタンドアロン用



旧ネットワーク用



新共用キー

USB キーを納入した場合、**不具合が生じる可能性があるため、インストールが完了して PC が再起動するまでは、セキュリティキーを USB ポートに装着しないでください。**

USB キーの納入がなく、旧バージョンの Alphacam からアップグレードする場合は、既存のキーをそのままご利用ください。**お手持ちの USB キーもインストールが完了して PC が再起動するまでは外しておいてください。**

i USBキーの納入がなく、“キーレス”スタンドアロンライセンスを使用する方は、この項目は関係ありません。また、Alphacamネットワークライセンス購入者には、USBキーを送付していない場合があります。詳細は[ネットワークライセンスインストール](#)を参照してください。

i 既存のDESkeyを引き続きご使用になる場合、DESkeyドライバはAlphacamと同時にインストールされません。ドライバインストールプログラムは、Alphacamインストールディスク内 Support\DesKeyフォルダにて入手できます。また、これらのドライバはDESkeyホームページ(www.deskey.co.uk)のダウンロードエリアからも入手可能です。もしこれらのドライバが必要な場合は、Alphacamインストール後に手動でインストールしてください。

インストールの開始

自動再生メニュー

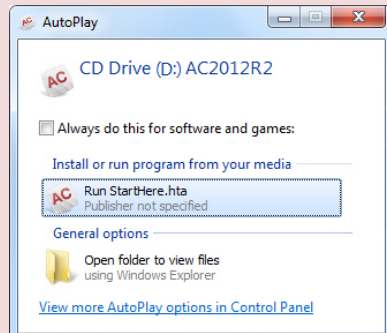
Alphacam インストールディスクを PC のディスクドライブに挿入してください。ご使用中の PC が DVD の自動再生に対応している場合、数秒後に自動再生メニューが表示されます。





自動再生メニューが表示されない場合は、マイコンピュータを開き Alphacam ソフトウェアが挿入されているディスクドライブを開き **StartHere.hta** をダブルクリックしてください。メニューが起動されます。

または、以下のダイアログにて自動再生を確認された場合は、**Run StartHere.hta** をクリックしてください。



- **インストール手順書** – このリンクをクリックすると Alphacam のインストール手順書を開きます。
- **新着情報** – このリンクをクリックすると Alphacam 新機能のドキュメントを開きます。
- **Alphacam をインストール** – このリンクをクリックすると Alphacam インストールウィザードを開きます。
- **アドインを参照** – このリンクをクリックすると Windows エクスプローラーにて Alphacam インストールディスク内のエクストラアドインフォルダを開きます。このフォルダには AlpuaCUT など様々な Alphacam 製品が入っています。
- **製品ウェブサイト** – ここをクリックすると、Alphacam ホームページのメインページに接続します。
- **使用許諾契約書** – Alphacam エンドユーザのライセンス許諾書 (www.planit.com/eula) を確認できます。



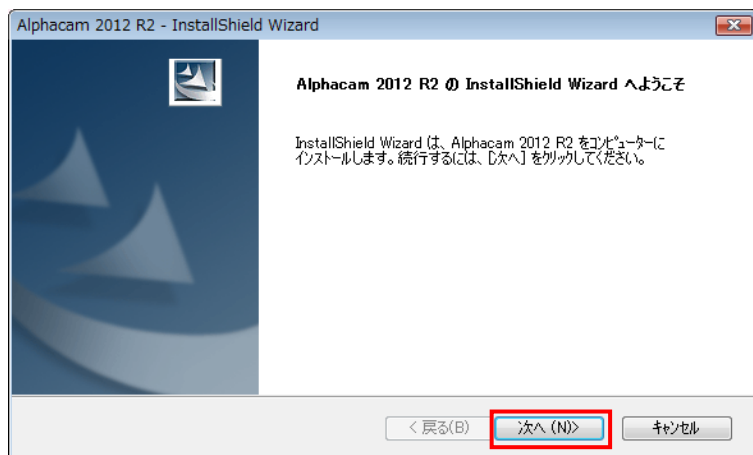
言語の選択

自動再生メニューに表示するメニュー及び Alphacam のインストール言語を、自動再生メニューの右上から選択してください。

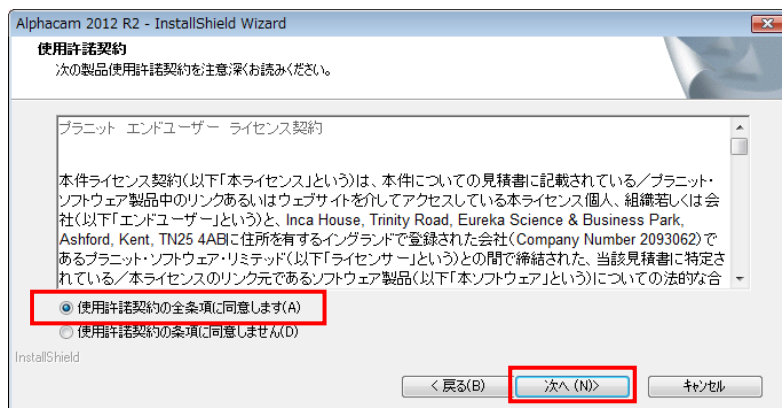


インストールウィザード

Alphacam をインストールをクリックしてください。



次へボタンをクリックし、インストールウィザードを次に進めます。



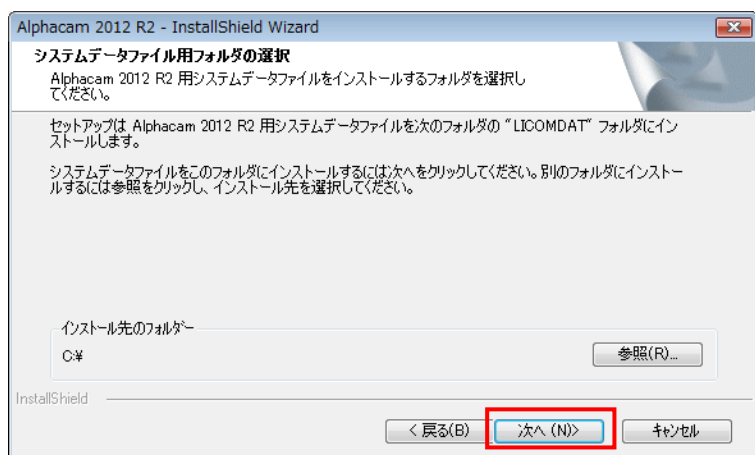
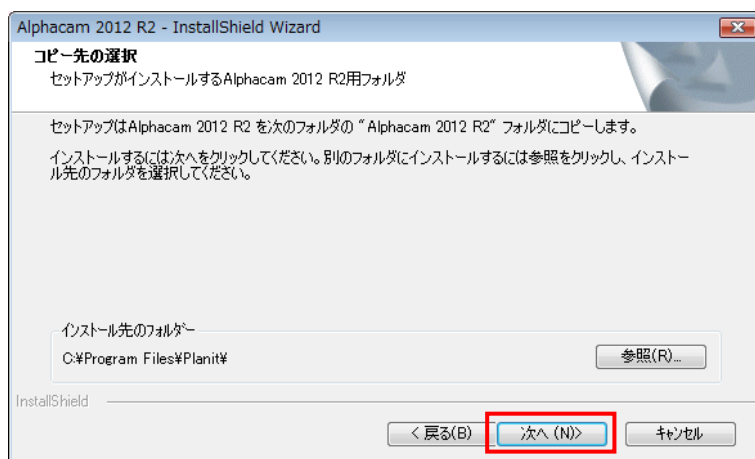
ライセンス契約に同意後、次へをクリックし、継続してください。
続いて、Alphacam インストール先を指定します。

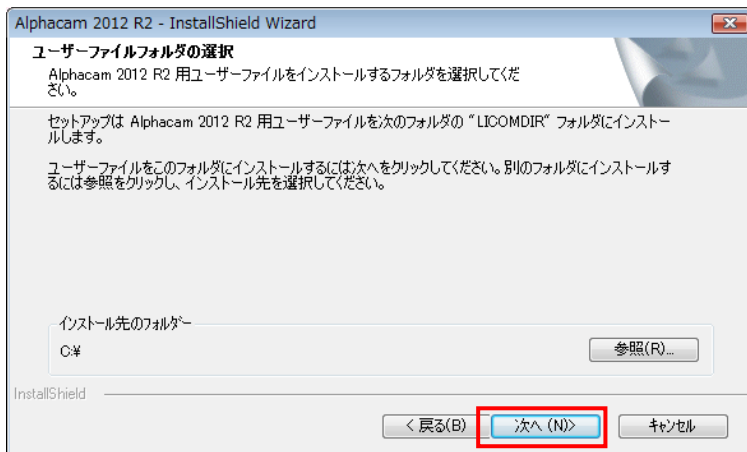
初めて Alphacam をインストールする場合、プログラムの保存先は、C:¥Program Files に設定されています。そのフォルダ内に Planit フォルダが作成され、さらにその中に、現在のプログラムリリースと同じ名前でもフォルダが作成されます。(例: C:¥Program Files¥ALPHA 2012 R2) データやユーザファイルの初期設定先は C:¥Planit です。LICOMDAT や LICOMDIR フォルダは指示した位置に自動的に作成されます。(例: C:¥Planit¥LICOMDAT や C:¥Planit¥LICOMDIR) 前バージョンの Alphacam がインストールされている場合は、既存の設定を参照します。

初期設定先は PC 上またはネットワーク上、どこにでも変更することができます。他の場所を設定する場合は、参照ボタンをクリックし、指定してください。次へをクリックし、選択されたパスを確認してください。

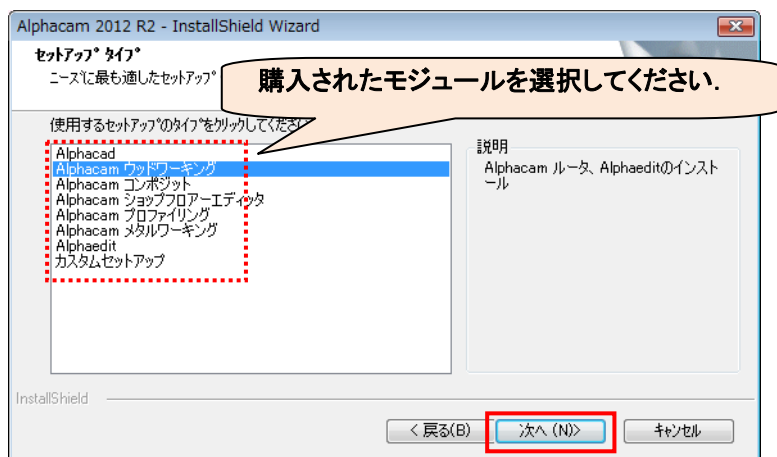


事故による重要なデータの破損・損失を防止するために LICOMDAT と LICOMDIR フォルダは定期的にバックアップしてください。





インストール先を設定後、使用するセットアップタイプを指定します。
 Alphacam ソフトウェアの主要な製品区分や Alphacad, Alphaedit, Alphacam ショップフロアエディッタなどを個別に選択することができます。また、カスタムセットアップにて選択することもできます。



製品区分を選択するときは、購入されたモジュールがどの区分に含まれるかを確認してください。

石材加工(コンポジット)

- Alphacam エッセンシャル ストーン
- Alphacam スタンダード ストーン
- Alphacam アドバンスド ストーン
- Alphacam アルティメイト ストーン

金属加工(メタルワーキング)

- Alphacam エッセンシャル ミル / レーズ(旋盤)
- Alphacam スタンダード ミル / レーズ(旋盤) / ワイヤ
- Alphacam アドバンスド ミル / レーズ(旋盤) / ワイヤ
- Alphacam アルティメイト ミル / レーズ(旋盤) / ワイヤ

プロファイリング

- Alphacam アドバンスド プロファイリング
- Alphacam アルティメイト プロファイリング

木工加工(ウッドワーキング)

- Alphacam エッセンシャル ルータ
- Alphacam スタンダード ルータ
- Alphacam アドバンスド ルータ
- Alphacam アルティメイト ルータ

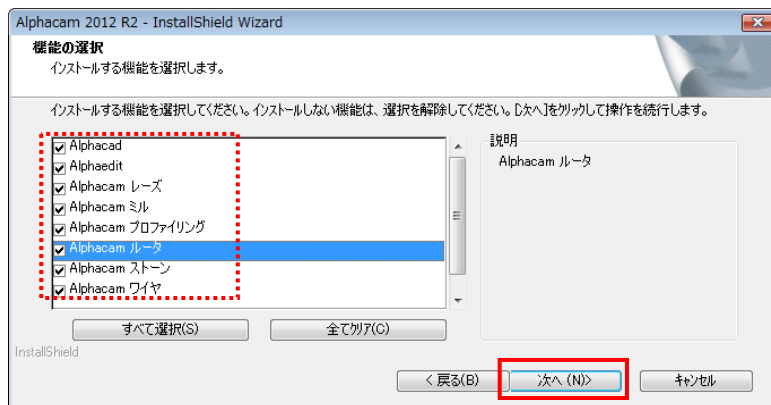
i 主要モジュールタイプには Alphaedit が含まれています。(AlphaCAD 及び Alphacam ショップフロアエディッタには含まれていません。)

セットアップタイプ: Alphacam ショップフロアエディッタをインストールする場合は、ショップフロアエディッタの詳細モジュールも選択してください。

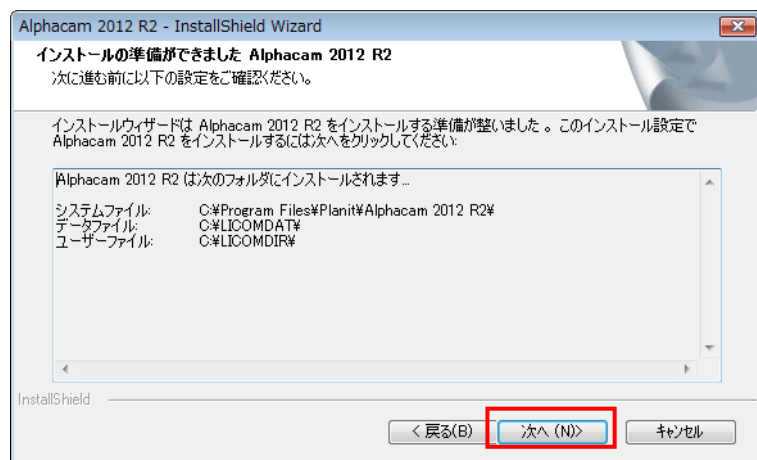


補足

モジュールを組み合わせるインストールしたい場合は、セットアップタイプ:カスタムセットアップを選択してください。

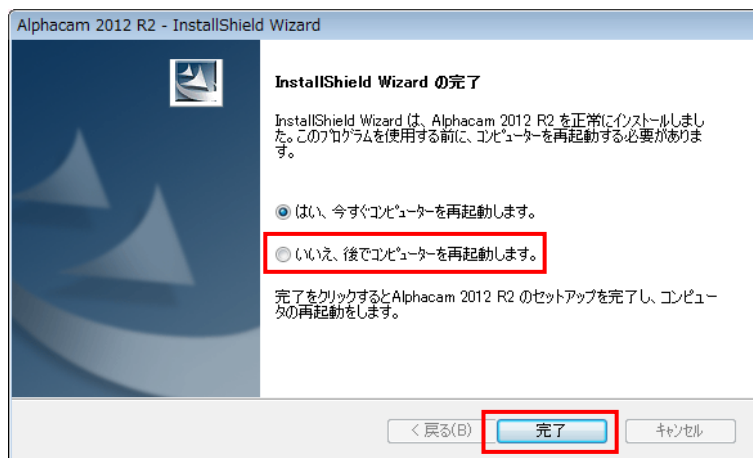


インストールしたいモジュールを選択後、次へをクリックすると、保存先の確認画面が表示されます。



表示されたプログラムのパスが正しければ、**次へ**をクリックしインストールを継続してください。
ここでは、「いいえ、後でコンピューターを再起動します。」を選択し完了をクリックしてください。

※ 次項目のマイナーバージョンアップ後、再起動してください。



i ライセンスを取得する前に Alphacam を開始すると警告メッセージが表示され、CLS ライセンスマネージャが自動的に開かれます。

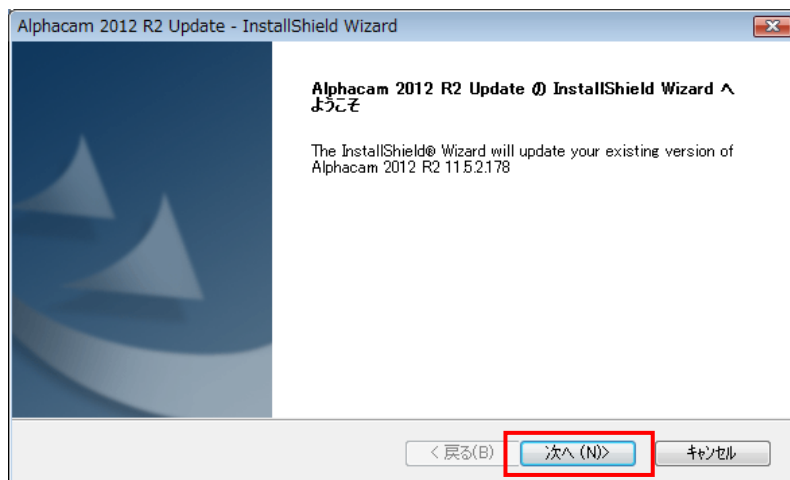
マイナーバージョンアップ

より快適な状態で Alphacam をご使用頂くために、マイナーバージョンアップを行ってください。

1. DVD 内 AC2012R2SP3_52166_Hotfix.exe をダブルクリックしてください。
2. 以下のダイアログが表示されます。実行をクリックしてください。



3. 次へをクリックしてください。



4. ウィザードが完了すると、以下のダイアログが表示されます。
「いいえ、後でコンピューターを再起動します。」を選択し、完了をクリックしてください。



5. 同様に BXF2012R2_52313_Hotfix 及び Nesting2012R2SP1_46680_Hotfix をダブルクリックし、インストールしてください。
6. 全てがインストール完了したら、PC を再起動してください。



STEP2 スタンドアロンライセンスのインストール

Planit CLS ライセンスのインストール



スタンドアロンCLSライセンスはインターネットにて取得可能です。インターネットが利用できない場合、ステップ 6 以降の操作は [P14 インターネットが利用できない場合](#) を参照してください。



ライセンスを取得するには予め PC に Alphacam をインストールしてください。



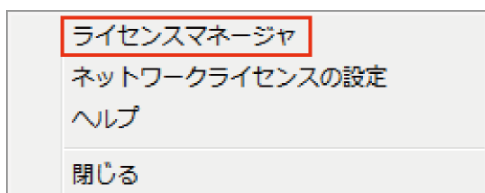
さらに詳しい説明は、Planit CLS ヘルプを参照してください。

スタンドアロンライセンスの取得

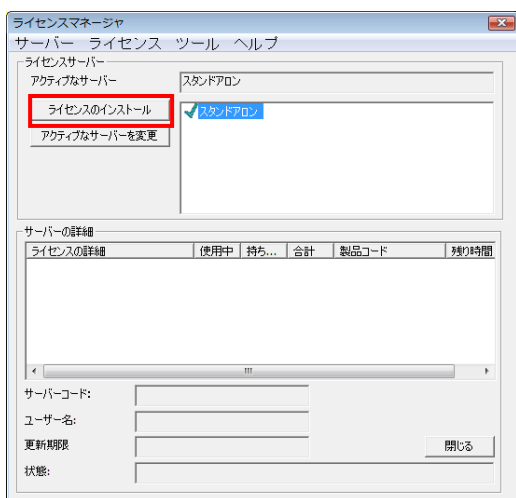
1. Alphacam USB キーを挿入してください。USB キーを購入していない場合は、2 に進んでください。
2. Client License Server (CLS) が起動しているか確認してください。起動している場合は、CLS アイコン (黄色のキー) がデスクトップ右下のシステムトレイ内に表示されます。



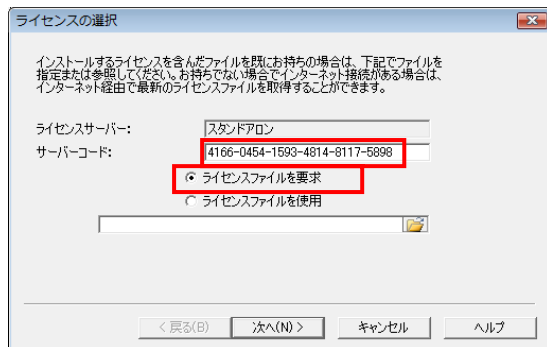
3. CLS アイコン上右クリックし、ライセンスマネージャを選択してください。



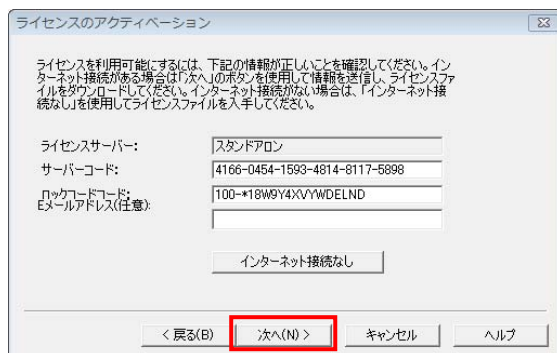
4. ライセンスマネージャ内のライセンスのインストールボタンをクリックしてください。



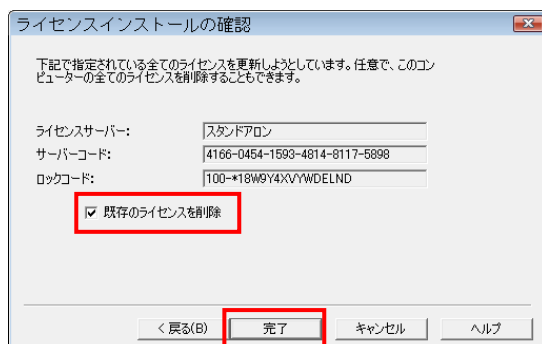
5. サーバコードを入力します。ライセンスファイルを要求を選択します(インターネット接続が必要)。



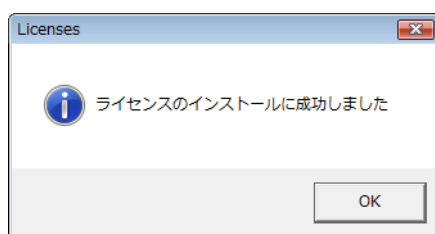
6. サーバコードを確認し、Eメールアドレスを入力してください。(任意) 次へをクリックしてください。
 ※インターネットに未接続の場合はP13 インターネットが利用できない場合を参照してください。



7. 既存のライセンスを削除を ON にし、完了 をクリックし、ライセンスのリクエストを適用してください。



8. 成功すると、以下のメッセージが表示されます。



9. システムトレイから黄色のキー (CLS 2012.20.0) を右クリックし、閉じるをクリックしてください。

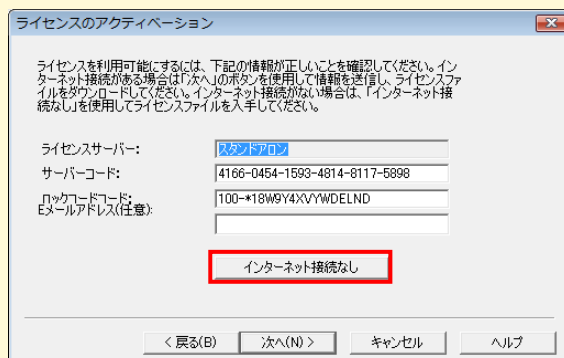
10. はいをクリックして、再起動してください。



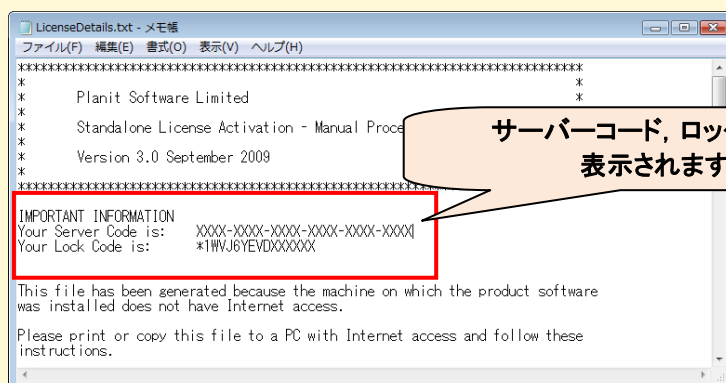
📘 インターネットが利用できない場合

基本的には、上記方法でスタンドアロンライセンスを有効にすることができます。ただし、インターネットに接続していることが条件になります。インターネットに接続していないPCをご使用の場合は、下記方法を実行してください。ライセンスファイルを手に入れている場合は4から始めてください。

1. インターネット接続なし ボタンをクリックしてください。



2. メモ帳が立ち上がり、使用中のキー(ドングル)のサーバーコード、ロックコードが表示されます。ロックコードは 100 または 80 から始まる番号が表示されます。それ以外の場合は、キーが正しく挿入されていない可能性がありますので、今一度ご確認ください。



3. このテキストの内容(サーバーコード・ロックコード)をインターネット環境があるPCにてEメールして頂くか、インターネット環境がない場合はプリントアウトしFAXしてください。

E-mail: support@jp.licom.com FAX: (076)439-0668

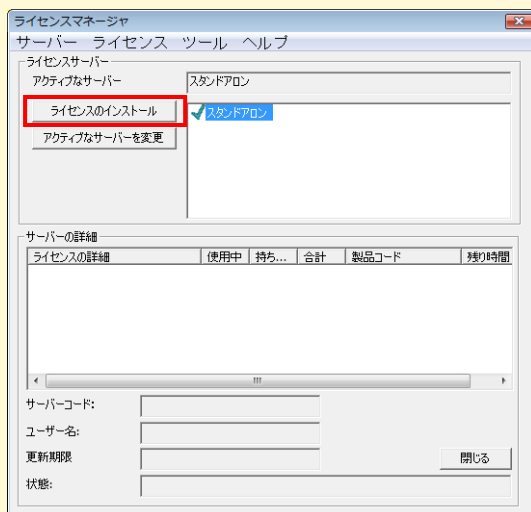
Eメールして頂いた場合は、個別にライセンスファイルをEメールにて返信致します。
FAXして頂いた場合は、CDにて送付致します。
(送付までに3～4日かかります。ご了承ください。)

ライセンスファイルがお手元に届きましたら、ファイルを任意の場所に保存してください。

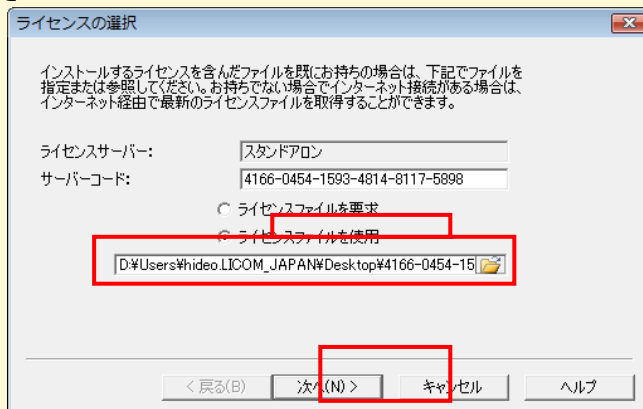
4. CLS アイコン上右クリックし、ライセンスマネージャを選択してください。

5. ライセンスマネージャ内のライセンスのインストールボタンをクリックしてください。

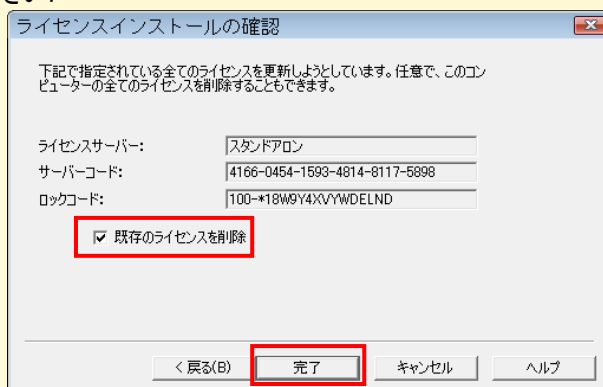




6. **ライセンスファイルを使用**を選択し、保存したライセンスファイルを選択し、次へをクリックしてください。

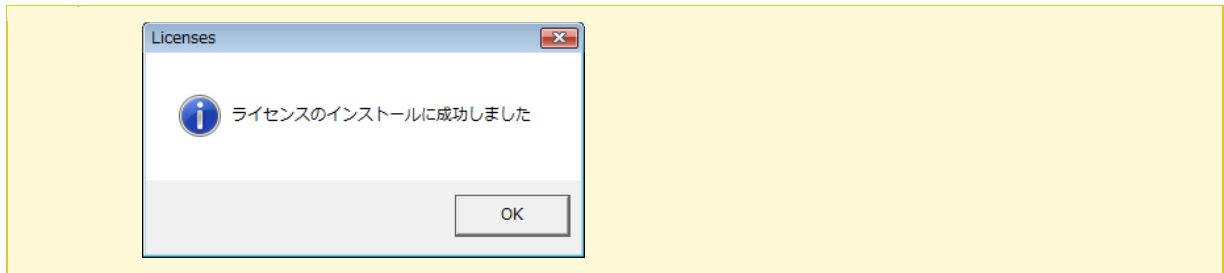


7. **既存のライセンスを削除**を ON にし、**完了**をクリックし、ライセンスのリクエストを適用してください。



8. 成功すると、以下のメッセージが表示されます。

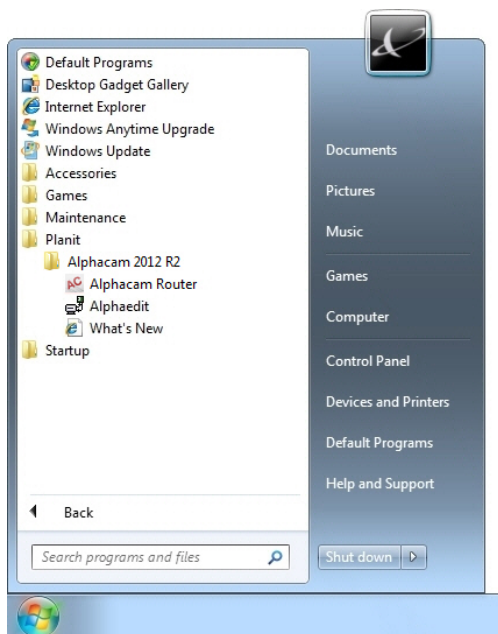




今後、新しくモジュールやオプションを購入された場合は、同様の手順で更新することができます。

Alphacam の起動

インストールウィザード完了後(必要に応じて再起動後) Windows スタートメニューに *Planit - Alphacam 2012R2* フォルダが作成されます。そこから起動してください。



STEP2 ネットワークライセンスのインストール

ネットワークライセンスを起動させるには、事前に Sentinel License Manager をネットワークサーバにインストールしておく必要があります。下記ステップに従い操作してください。

インストール可能なオペレーティングシステム (OS) :

Windows XP (XP Pro 推奨), Windows Vista (Vista Business または Vista Ultimate 推奨), Server2003, Server2008.

Alphacam は上記のオペレーティングシステムの 'Home' エディション (Windows XP Home Edition, Vista Home Basic と Vista Home Premium を含む) にインストールし動作させることは可能です。しかし、これを推奨することはできず、この操作環境で発生した Alphacam のいかなる問題に関しましては、サポート対象外となります。

ライセンスサーバーとライセンスのインストール



この文章は初期のネットワークライセンスのセットアップに適用します。もし年間保守の更新、または追加モジュールを購入後であれば、インストールディスクの **Sentinel_RMS_Licensing\Quick Reference Guides** フォルダ内の **network_UpdateLicenseFile.pdf** を参照してください。



キーレスライセンスを使っている場合は Sentinel RMS ライセンスサーバーを実在するサーバーにインストールしてください (仮想サーバー不可)。Sentinel RMS ネットワークライセンスが SafeNet Computer ID USB キーでロックされている場合のみ仮想サーバーにインストールできます。

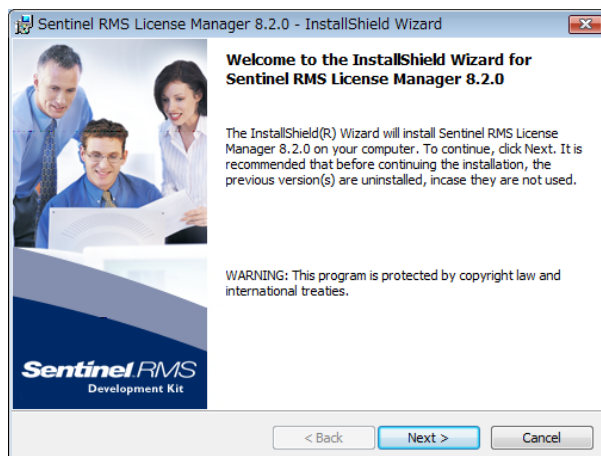


キーありネットワークライセンスを使っている場合は、キーがサーバーに取り付けられているか確認してください。

ライセンスサーバーのセットアップ

1. Alphacam インストールディスクを挿入し、Windows Explorer を使用してディスクドライブを参照してください。
2. Sentinel License Manager インストールウィザードを開始します。
 - 方法 1) ディスクのルートフォルダ (例: D:\InstallLM.bat) にある **InstallLM.bat** ファイルを起動 (ダブルクリック)
 - 方法 2) **Sentinel_RMS_Licensing\License_Manager_Installation** フォルダ (例 D:\Sentinel_RMS_Licensing\License_Manager_Installation) にある **Setup.exe** ファイルを起動 (ダブルクリック)





ウィザードが開始されますので、指示に従ってライセンスサーバーのインストールをおこなってください。

ライセンスファイルのインストール

サーバー上のライセンスファイルをインストールする方法は次の2通りあります。

- [方法1](#) – CLSライセンスマネージャを使う。この方法は無効になったライセンスファイルのインストールには使用できないことに注意してください。
- [方法2](#) – WlmAdmin.exeを使う

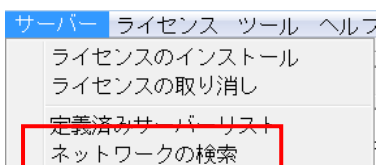
方法1 – ライセンスマネージャを使う

サーバーかクライアント PC (Administrator Model が有効な) にインストールされた CLS からライセンスをインストールできます。

1. CLS アイコンを右クリックし、**ライセンスマネージャ** を選択してください。



2. **サーバー** メニュー上で**ネットワーク検索** をクリックし、Sentinel RMS サーバーのリスト出してください。接続したいサーバーを選択し、**アクティブなサーバーを変更** をクリックしてください。希望のアクティブサーバーに変更されたかを確認し、ダイアログを閉じてください。



3. リスト上に表示されたサーバーから使用したいサーバーを選択し、**ライセンスのインストール** ボタンをクリックしてください。
4. 表示されたダイアログには、インターネット経由でライセンスファイルを要求するか、すでにダウンロードしたかメールで受け取ったファイルを使用する選択オプションがあります。

インターネット経由でライセンスファイルを要求には

1. **サーバーコード** を入力(タイプかコピーとペースト)し、**次へ** をクリックしてください。



2. **ライセンスファイルを要求** をクリックし、インターネット経由で Planit サーバーからライセンスファイルを要求します。
3. 確認ダイアログで、詳細が正しく表示されているかを確認し、**次へ** をクリックしてください。

すでに受け取ったライセンスファイルをインストールするには

1. **サーバーコード** を入力(タイプかコピーとペースト)し、**次へ** をクリックしてください。
2. **ライセンスファイルを使用** をクリックしてください。
3. ライセンスファイルを選択します (ライセンスファイルは <servercode>.one, と名前が付いています。例えば, 1234-4567-1234-4567-1234-4567.one)
4. **次へ** をクリックしてください。
5. 確認のダイアログで、**完了** をクリックしインストールを完了してください。


ライセンスはインストールされ、使用する準備ができました。

方法2 – WlmAdmin.exe を使う

ライセンスファイルをすでに入手されている場合は6から開始してください。

1. まず始めにサーバーにロックコードを生成してください。インストール DVD で以下のファイルを実行してください。:

¥Sentinel RMS Licensing¥Generate Lock Code¥**GenerateLockCode.exe**

2. ダイアログに表示されたロックコードをメモ等に取り保管してください。または、**保存**  をクリックし、ロックコードをファイルに保存することもできます。



GenerateLockCode.exe が失敗した場合は、同フォルダ内の **GenerateLockCodeHelp.txt** ファイルを読んでください。

3. オンラインでロックコードを送信して、ライセンスファイルを取得してください。
 1. Delivery note に記載してあるリンクに接続してください。
 2. すると自動的に **Servercode** (サーバーコード) **Customer ID** (顧客 ID) が表示されます。
 3. ロックコードと入力してください(タイプかペーストで)。
 4. 任意で E メールアドレスを追加入力してください。
 5. **Generate License** をクリックしてください。
 6. ステップ4に進んでください。
4. もし保守契約期限切れの顧客で、すでにファイルのロックコードを持っている場合は、直接 www.planit.com/licenceactivation に接続して行うこともできます。 .

Lock Code を入力(タイプかペースト)し、**Next** をクリックしてください。

もしロックコードが見つからない場合は、**Enter Additional Customer Information** をクリックしてください。**Customer ID** と **Servercode** (delivery note にあります) を入力してください。

Generate Licence をクリックしてください。 .

ライセンスを生成したら新しいページが表示されます。そこにライセンスファイルをダウンロードするリンクが含まれています。もしステップ1で E メールアドレスを入力した場合は、設定アドレスにライセンスファイルが添付されて送られます。



5. ライセンスファイルを保存してください。



ライセンスファイルは、ロックコードを生成したサーバー上のみ有効です。

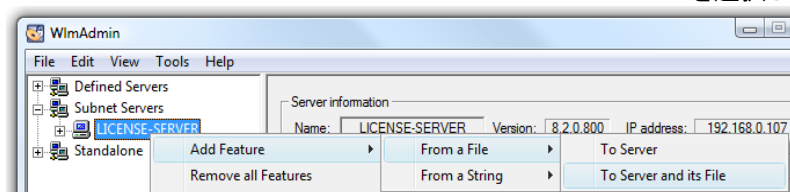
6. インストール DVD で以下のファイルを実行してください。

¥Sentinel RMS Licensing¥Administer and Monitor¥wlmadmin.exe

または、

c:\Program Files\Common Files\Planit\2012.20\ Utilities\ Administer and Monitor\wlmadmin.exe
を起動してください。

7. ダイアログが開いたら **Subnet Servers** の下からあなたのサーバーを選択してください。右クリックをし、**Add Features ▶ From a File ▶ To Server and its File** を選択してください。



注意: 製品ライセンスは Sentinel RMS™ のデータを参照しています。

8. 保存したライセンスファイル確認して、**OK** をクリックしてください。


各ライセンスの確認ダイアログが表示されるので **OK** をクリックしてください。

サーバーとライセンスのインストールが完了しました。これで、[クライアントPCの環境設定](#)の準備ができました。



STEP3 クライアント PC のネットワークライセンス環境設定

ネットワークライセンスサーバーを設定後、(上項目 [ネットワークライセンスインストール](#) 参照) クライアントPCは以下の環境設定をしてください。

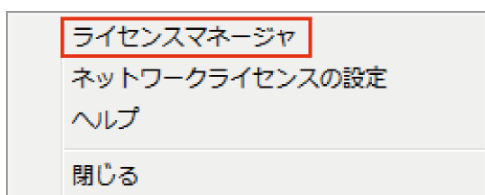
 詳細はインストール DVD 内 Support¥CLS¥QuickReferenceGuides Planit CLS help を参照してください。

クライアント PC の環境設定

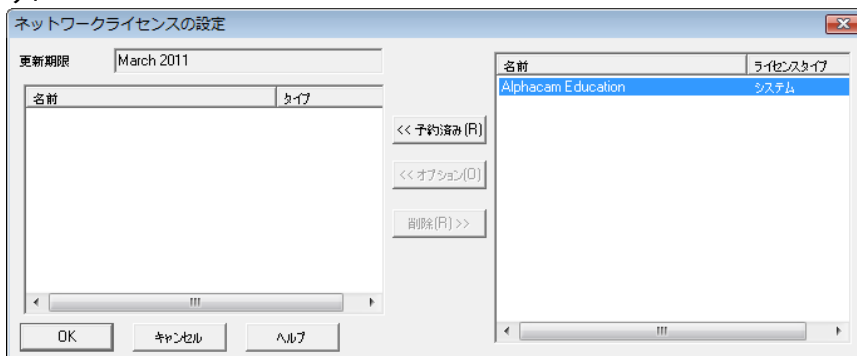
- Client License Server (CLS) が起動しているか確認してください。起動している場合は、CLS アイコン (黄色のキー) がデスクトップ右下のシステムトレイ内に表示されます。



- CLS アイコン上右クリックし、**ライセンスマネージャ** を選択してください。



- ダイアログが開くので、**サーバーメニューからネットワークの検索** をクリックしてください。すると、Sentinal RMS サーバーの一覧が表示されます。
- 接続したいサーバーを選択し、**アクティブなサーバーを変更** をクリックしてください。
- アクティブなサーバーが希望通りか確認し、ダイアログを閉じてください。
- ネットワークライセンスの設定** ダイアログが選択したサーバーで有効なライセンスのリストを表示します。もしダイアログが表示されない場合はCLSメニューから **ネットワークライセンスの設定** オプションを選択してください。
- クライアントPCの設定をします。ダイアログ右側にリストアップされるシステムライセンスをクリックしてください。<<**予約済み**>> をクリックしてください。左側のリストには、クライアントPC用に選択したライセンスが表示されます。



- 他に必要なライセンスを選択し、OK をクリックしてください。
- Alphacam インストールがライセンス認証され、使用する準備ができました。

i これらのライセンスは”仮選択”されている状態です。サーバー上のライセンスに空きがないと、実際にソフトウェアを起動することができません。

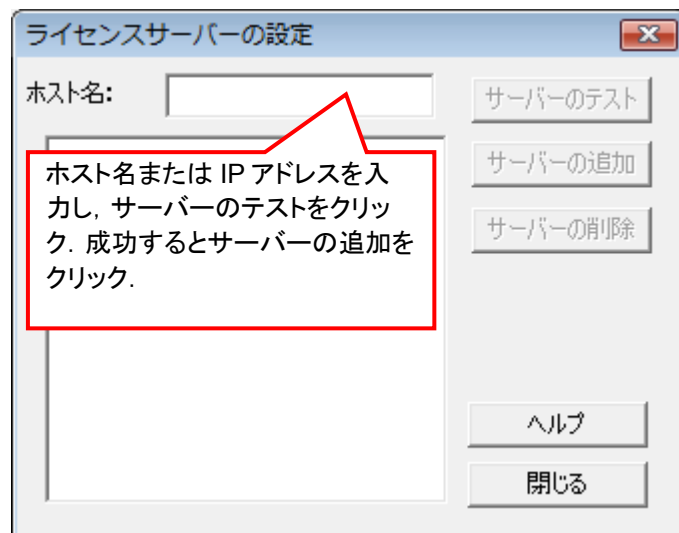
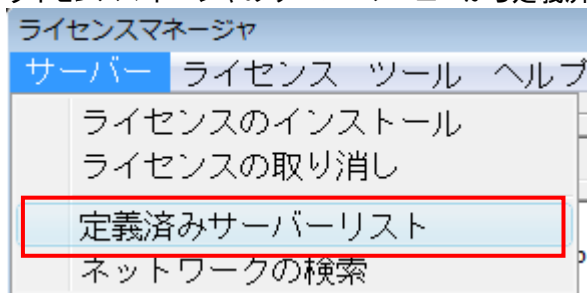
重要事項

- Alphacam がライセンスサーバーを検出できなかった場合**、以下のいずれかの方法でライセンスサーバー名をセットしてください。

! 以下の手順は、Alphacam 起動中の PC に対して行う操作です。Sentinel License Manager 起動中の PC ではありませんので、注意してください

方法 1

ライセンスマネージャのサーバーメニューから定義済みサーバーリストを選択する



方法 2

1. Alphacam (License Manager ではなく) が起動されている PC の環境変数に変数 LSHOST を追加します。
2. この変数には、サーバー名または License Manager サーバーの IP アドレスを設定します。(例えば、SERVER_NAME または 192.168.0.100)

この変数の設定に関しては、貴社のシステム管理者または Alphacam 技術サポートまでお問い合わせください。

方法 3

1. LSHOST という名前の新しいテキストファイルを作成します。サンプルファイルが Alphacam インストールディスクの `Support\Sentinel\NetworkDrivers\Sample LSHOST File` フォルダの中に入っています。
 2. LSHOST ファイルを(例 メモ帳などで)編集し、ファイルの先頭行にライセンスマネージャサーバーの名前もしくは IP アドレス(例 SERVER_NAME または 192.168.0.100)を入力します。
 3. LSHOST ファイルを保存して閉じます。
 4. LSHOST ファイルを `C:\Program Files\Common Files\Planit\バージョン名\CLS` にコピーもしくは移動します。
- どちらの方法でも、複数サーバーをご使用の場合は、各サーバーに名前を付けることができます。それぞれの名前は「:」シンボルのセパレータで(例 SERVER_ONE:SERVER_TWO など)区切ってください。Alphacam はリスト中のライセンスサーバーを先頭から順に試します。
 - 詳しい Planit CLS ライセンス手順に関しては、AlphacamDVD の `Support\Sentinel\NetworkDrivers\QuickReferenceGuides\CLS` を参照してください。



STEP4 Part Modeler のインストール

Alphacam Part Modelerを**ご購入の場合は**, Part Modelerのインストールをクリックし, ウィザードに従って操作してください。

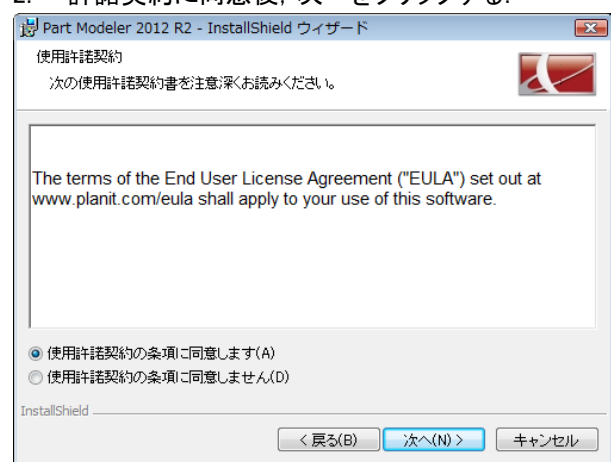


ウィザード手順

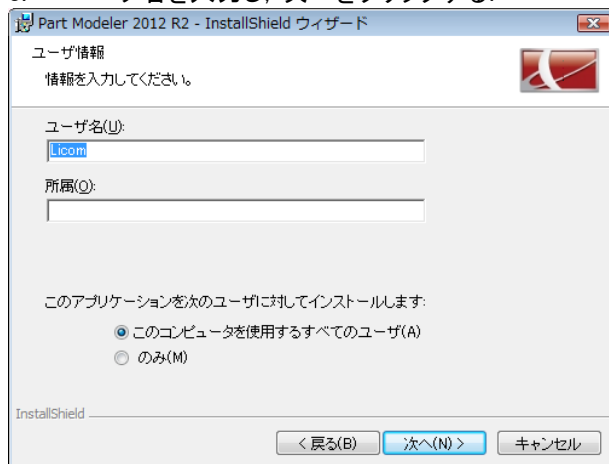
1. 次へをクリックする.



2. 許諾契約に同意後, 次へをクリックする.



3. ユーザ名を入力し, 次へをクリックする.



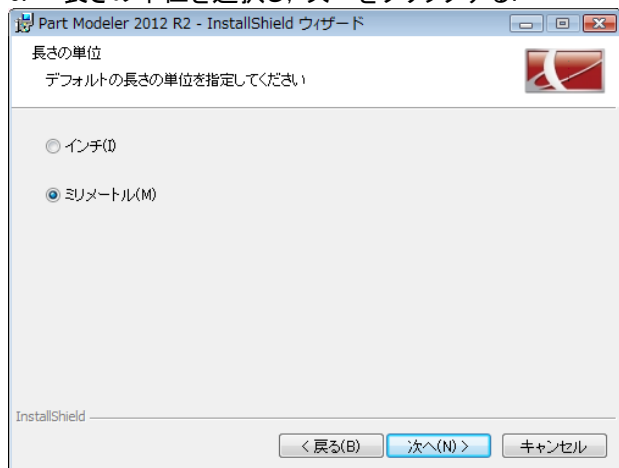
4. インストール先を指定し、次へをクリックする。



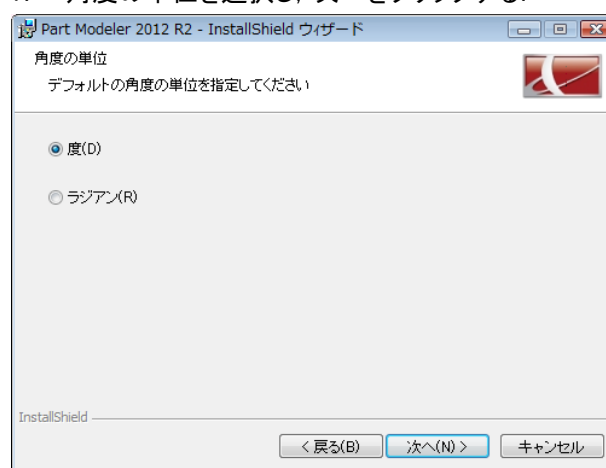
5. が入っているのを確認し、次へをクリックする。



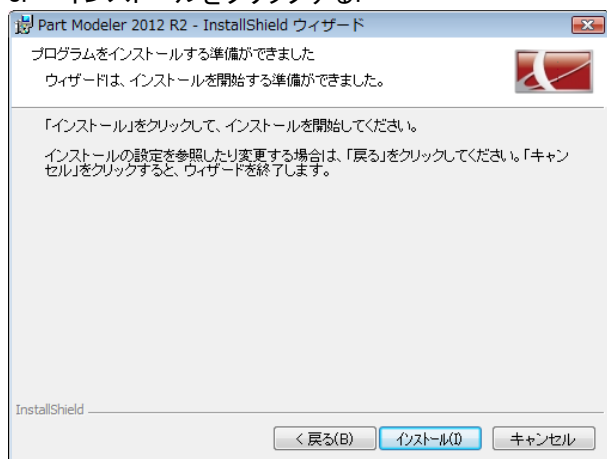
6. 長さの単位を選択し、次へをクリックする。



7. 角度の単位を選択し、次へをクリックする。



8. インストールをクリックする。



9. 完了をクリックする。



補足

Part Modeler を初めて起動する際に、エラーが発生することがあります。
エラーが発生した場合は、以下手順を実行してください。

**【手順】**

- ① Part Modeler を起動
- ② ツール / オプション / ユーザーインターフェイスのリセット を選択
- ③ Part Modeler を再起動

